宗教者共同声明

戦没者の遺骨が含まれている土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません

２０２０年１２月１０日発表

「戦没者の遺骨がまじった土砂を辺野古新基地建設に使うなんて、死者への冒涜です」

「戦争で亡くなった人の遺骨を、土砂と一緒に軍事基地を造るための埋め立てに使ってはならない」

こう訴え、憤るのは、沖縄戦犠牲者の遺骨を三十八年間、収集してきた沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんです。

沖縄戦でお亡くなりになられた方々の遺骨が収集されないまま、土砂と一緒に、辺野古新基地建設の埋め立てに使われようとしています。

これは、防衛省がこの４月に、公有水面埋立法に基づき、設計変更を沖縄県に申請した結果、埋め立てに使う土砂の採取地として現行計画にない沖縄本島南部が追加されたためです。本島南部には、今でも多くの遺骨が残存しています。

遺骨は死者の尊厳をあらわすものです。遺骨をないがしろにすれば、死者の尊厳を踏みにじることになるでしょう。命を尊ぶ宗教者として、これを許すことはできません。戦争で命を奪われた方々の遺骨を軍事基地建設に利用しないでください。

戦争犠牲者への尊厳の念をもって、菅義偉首相は、ただちに沖縄本島南部地域からの土砂の採取を中止すべきです。

今、菅義偉首相が、真っ先に優先すべきことは、遺骨の収集であり、遺骨を遺族の方々に一日も早くお返しすることです。

物言わぬ遺骨とその魂の叫びは、「遺骨を助けてほしい」と私たちに迫っております。

戦没者の遺骨が含まれている土砂を戦争のための基地建設に使ってはなりません。これは、戦没者を二度殺すことと同じなのです。

私たち宗教者は、辺野古新基地建設のため、沖縄戦激戦地の土砂使用計画をただちに撤回し、沖縄戦犠牲者の遺族の方々に謝罪することを菅首相に強く求めるものであります。

呼びかけ団体（６団体）

辺野古に新基地を造らせない島ぐるみ宗教者の会
日本宗教者平和協議会
基地のない沖縄をめざす宗教者の集い
日本カトリック正義と平和協議会
平和を実現するキリスト者ネット
平和をつくり出す宗教者ネット

賛同団体（１８団体）
賛同者合計　３６２名（２０２０年１２月２０日現在）

☆賛同者・賛同団体を集めています。ご協力をお願いいたします！
宗教者以外の方々も大歓迎です！
◎下記にＦＡＸまたはメールでお名前、所属団体を明記して「賛同します」と書いてお送りください。
◎Change org でも賛同できます。（QR コードをご利用ください）

連絡先　「平和をつくり出す宗教者ネット」事務局
東京都渋谷区神泉町８－７　日本山妙法寺内
TEL 090-1853-1446（武田）
FAX 03-3461-9367
Email:nqh10948@nifty.com